

Facebookでも情報発信中!

<https://www.facebook.com/JAHApage>

facebook



vol 436

Mar 2024



News Letter



JAHA

Contents

巻頭通信	2
VETERINARY STAFF STATION	3~6
CAPP&INSTRUCTOR STATION	7~8
JAHA STATION	9
News&Information	10

公益社団法人

日本動物病院協会

103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-7 常盤ビル7階
TEL.03-6262-5252 FAX.03-6262-5253
website <https://jaha.or.jp> e-mail info@jaha.or.jp

人と動物の間に存在する絆。
その絆を守り、維持するための動物医療。
JAHAは絆のための動物医療を実践することで
社会へ貢献します。

JAHAはマイクロチップの普及を推奨しています。



監事 秦東主

「幸せ」

現在JAHAの監事を務めております弁護士の秦東主と申します。何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、突然ですが、皆さんは「幸せ」についてどのようにお考えになりますか。

色々な捉え方があるのですが、私は、端的に言えば、心の底から「ありがたいなあ」と思う気持ちや、心の底から「ありがとう」と言いたくなる気持ちのことをいうのではないかと考えています。

このように考えるようになったきっかけは、母の死でした。

母は、私が司法試験を志した理由となる人物でもあるのですが、私がいい加減な受験生活を送っていたため、合格の報告ができないまま亡くなりました。

私は、生きる意味を失ったような気持ちになり、改めて生きる意味を作ろうとしたのかもしれませんが、母の葬儀の挨拶の場で、「母の分も生きていこうと思う」と言いかけました。しかし、そう言いかけたとき、何か引っかかるものがありました。というのも、あくまで自分を中心に人生を考えているような表現ではないか、言い換えれば、母の人生を自分の人生にとっての飾りつけとして捉えるような表現ではないか、という思いがよぎったのです。そこで私は、「『母の分も生きていこうと思う』という言葉は、母の人生を私の人生の飾りつけにしているみたいなので、使いたくありません。なので私は、私の人生が母の人生にとってのキレイな飾りつけになるように、精一杯生きていきたいと思います」と挨拶しました。それと同時に、改めて、母の存在を心の底から「ありがたいなあ」と思うとともに、心の底から「ありがとう」と言いたくなりました。そして、そんな母のもとに生まれたこと自体が「幸せ」だと感じたのです。また、それまで母

に対して「ありがとう」という言葉をほとんど言ってこなかったことを悔やみ、これからはなるべく「ありがとう」という言葉を言うように心がけようと決めました。

私の妻が、結婚前に飼っていたゴールデンレトリバーの話をよく聞かせてくれるのですが、ある時、「亡くなる前によくしてあげられなくて『ごめんね』という思いもあるけど、それよりも『ありがとう』と言いたい」と話していたことがありました。きっと同じような気持ちなのではないかと感じました。

話は変わりますが、私の姉が、ヨークシャーテリア4匹を飼っていました。母犬の「きなこ」に、その子供達の「あずき」、「金時」、「ピース」です。

実は私は、幼少期から動物全般が苦手でした。幼少期に犬に追いかけられたことがトラウマになっているからかもしれませんが、恐怖心があり(嫌いというわけではありません)、動物に触れることすらできませんでした。そんな私も、きなこ達のおかげで、多少なりとも、犬に触れたり、抱っこしたりできるようになりました(上の写真が、私がきなこを抱っこしている様子ですが、昔の私からしてみたら考えられない光景です)。

なので、私にとってきなこ達は、恩人ならぬ恩犬なのです。

そんなきなこ達ですが、皆高齢となり、先日、四犬の最後として、ピースが旅立ちました。

私とは比にならない程の悲しみを抱いたであろう姉のことを心配しましたが、そんな姉から出た言葉も「ありがとう」でした。

私は、決して自慢できるような人生を送ってきたわけではありませんし、今もそんな自信は全くないのですが、母の葬儀で挨拶したように、母の人生にとってキレイな飾りつけになるような人生を送ることができているか、母も私に対して「ありがとう」と思ってくれているか、日々そんなことを自問自答しています。

そして、きなこ達も同じ気持ちでいてくれることを願いつつ、私の気持ちとしてやはりこう伝えたいです。

「ありがとう」

— 今月の表紙 —

「お花より可愛いでしょ♡」

上野 早紀子 様



農林水産省よりお知らせです

小動物臨床獣医師、ペットオーナーの皆様へ

薬剤耐性に関する 認知度調査を実施します

細菌による感染症を治療するため、抗菌薬（抗菌性物質を含んだ医薬品のこと）がヒトや動物の分野において広く利用されていますが、近年、抗菌薬が効かない細菌（薬剤耐性菌）が国内外で大きな問題となっています。我が国では、「薬剤耐性対策アクションプラン（2023-2027）」

（右の二次元コード参照）に沿って、取組の一層の強化が求められています。

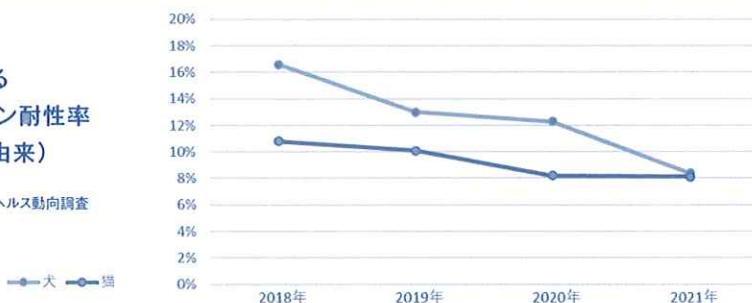
そこで、現在の薬剤耐性に関する認知度を確認し、今後の取組の検討に活用するため、アンケート調査を実施します。御協力をお願い申し上げます。



薬剤耐性対策
アクションプラン
(2023-2027)概要

大腸菌における
テトラサイクリン耐性率
(健康な犬・猫由来)

2022年度薬剤耐性ワンヘルス動向調査
年次報告書より



期間 令和6年2月5日(月)～3月15日(金)

設問数 8問(所要時間3分程度)

回答方法 下記のURLおよび右記二次元コードからアンケートフォームに接続し、回答をお願いします。ご存知の範囲で回答していただいて結構です。

小動物獣医師URL <https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1704976913azlYAdXE>

ペットオーナーURL <https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1704977251YkcVIMUz>

本調査に対するお問い合わせ先

本調査に対する問い合わせは
下記アドレスまでお願いします。
staff@liveup.tokyo



獣医師用



ペット
オーナー用




<http://101dog.co.jp>

2024年4月から労働条件明示のルールが改正されます

もうすぐ新年度がスタートしますが、この一年はいわゆる「2024年問題」とよばれる時間外労働の上限規制変更など、労働環境をめぐるはととても大きな変化があります。

今回は、その中でも大きな変更のうちの一つ、「労働条件明示のルール改正」についてご説明いたします。

そもそも、今までもスタッフを雇用したり労働契約を更新する際には、期間や賃金について書面で明示する必要がありました。

今回の改正により、今までの明示事項に加えて

1. 就業場所・業務の変更の範囲
2. 更新上限の有無と内容
3. 無期転換申込機会・無期転換後の労働条件

が追加されました。

対象	明示のタイミング	新しく追加される明示事項
すべての労働者	労働契約の締結時と 有期労働契約の更新時	1. 就業場所・業務の変更の範囲 【改正労基則第5条第1項第1号の3】
有期契約労働者	有期労働契約の 締結時と更新時	2. 更新上限の有無と内容 (有期労働契約の通算契約期間または更新回数の上限) 【改正労基則第5条第1項第1号の2】 +更新上限を新設・短縮しようとする場合、 その理由をあらかじめ説明すること 【改正雇止めに関する基準第1条】
	無期転換ルールに基づく 無期転換申込権が 発生する契約の更新時	3. 無期転換申込機会 無期転換後の労働条件 【改正労基則第5条第5項・第6項】 +無期転換後の労働条件を決定するに当たり、 他の正社員等とのバランスを考慮した事項の 説明に努めること 【改正雇止めに関する基準第5条】

出典元:「令和6年4月から労働条件明示のルールが改正されます」厚生労働省HP

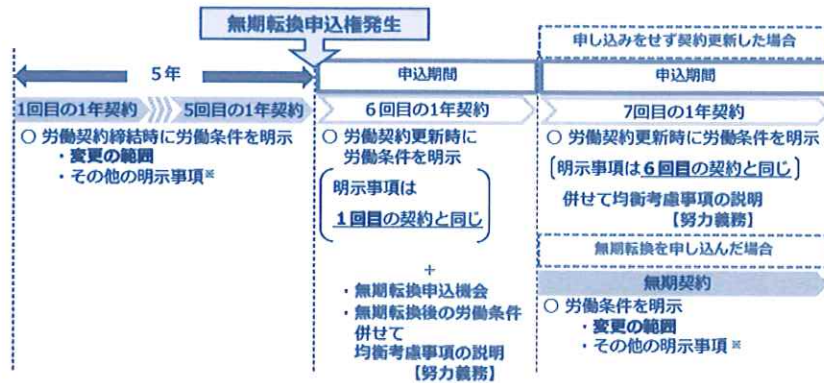
改正にいたる背景として、勤務地や職務、勤務時間を限定した多様な正規スタッフの働き方が病院側からもスタッフ側からもメリットが大きいと感じられている一方、従来の統一的な仕組みでは個別的な労働契約内容が曖昧であり、それゆえトラブルが発生してしまうなどの問題がありました。

これらの問題について、労働契約関係の明確化が適当であるとされ、今回の改正にいたりました。

なお、労働契約関係の明確化は、多様な正規スタッフのみならず、全スタッフに対して有益ですので、今回の改正においても「1. 就業場所・業務の変更の範囲」については「すべての労働者」が対象となります。

また、有期契約のスタッフが5年を超えて労働契約を更新された場合に、スタッフからの申込によって期間の定めのない労働契約に転換できるという「無期転換ルール」があります。しかしながら、なんとなく聞いたことはあっても、実際にいつから権利が発生するのか、病院側も、また有期契約のスタッフ本人であっても理解していないことが多いのではないのでしょうか。「知らない間に申込機会を逃してしまっていた」「知っていたら申込んでいたのに」といったトラブルも引き起こしかねません。こうしたケースを避けるため、今後は「無期転換申込権」が発生する契約更新のタイミング(※事例1)ごとに、無期転換後の労働条件の書面明示が求められることになりました。

事例1：契約期間1年の有期労働契約で、更新上限がない場合



出典元：「2024年4月からの労働条件明示のルール変更 備えは大丈夫ですか？」厚生労働省HP

その他、今回の法改正には含まれておりませんが、同時に厚生労働省が公開した「モデル労働条件通知書」では、「就業規則を確認できる場所や方法」を明記する仕様になっており、スタッフがより労働条件を明確に把握することができる環境を作ることが求められています。

今回の改正は、トラブルを未然に防止するだけでなく、病院側としては優秀な人材の確保や病院への定着、スタッフ側としてはワーク・ライフ・バランス確保や自律的なキャリア形成においても必要なことといえます。なお、ご不明な点については、お気軽に社会保険労務士までご相談ください。

公益社団法人Knots ずっと一緒に居ようよプロジェクト 令和6年能登半島地震「被災者のペット可物件入居支援金」 助成事業のご案内

公益社団法人 Knots では、公益認定事業「ずっと一緒に居ようよプロジェクト」において、この度の地震で被災された方を対象に、家族の一員であるペットと一緒に暮らすことができるように、ペット可物件へ入居される際の費用を支援する事業を1月17日より開始いたしました。

入居支援金の助成を必要とされる方がおられましたら、是非お伝えいただければ幸いです。より多くの被災された方に支援が行き届くよう、全国から追加のご寄附も募っております。

阪神・淡路大震災を経験した神戸からできる支援として、被災された方々が一日も早く日常を取り戻せるよう願っております。

お力添えいただきますよう何卒よろしく願い申し上げます。

●令和6年能登半島地震「被災者のペット可物件入居支援金」助成募集

被災者の方からお申し込みいただき、仲介業者の方を通じて入居の際の支援金を助成させていただきます。

●令和6年能登半島地震「被災者のペット可物件入居支援金」寄附金募集

入居支援金は、熊本地震の支援金の残金を原資に、1件につき30,000円の支援となります。

ペットと共に行き場を失った方にご支援が行き届くように、助成件数を増やすため、全国からのご寄附を募集しています。

●令和6年能登半島地震「能登半島地震関連情報提供コーナー」

公益社団法人 Knots ウェブサイト内に、令和6年能登半島地震に関連する情報を集めたページを開設いたしました(随時更新)。

詳細は公益社団法人Knotsウェブサイト内「ずっと一緒に居ようよプロジェクト「令和6年能登半島地震」関連」ページをご参照ください。

こいぬこねこ教育アドバイザー養成講座を受講された皆様に「こいぬこねこの教育アドバイザー養成講座を受講して～私の夢～」をテーマに、熱い想いをつづっていただきました。



こいぬこねこ教育アドバイザー実践コースに参加して

はせ動物病院 小貫彩未



私は病院で実際にパピークラスを行っているのですが、いつも先輩に頼ってばかりな気がして自分では何も出来ていないのではないかと、せっかく一緒にパピークラスをやらせていただいているのにこのままではただ一緒にやっているだけで何も成長出来ないのではないかと思います。そしてなにより、飼い主さんに聞かれたことに対してうまく答えられることができなかったり、わかっているもうまく伝えることが出来ず、悔しい気持ちでいっぱいでした。そして、自分はしつけが向いていないのではないかなどと考えてしまうことがあり、パピークラスに楽しんで参加出来ていないときがありました。そして、この実践コースの話がありました。最初は正直、自分にはできるのか、やっていけるのか、なにより楽しんでやるのが出来るのかなど不安はたくさんあり参加するかとても迷いました。しかし、このまま何もしないとただ年月が過ぎていくだけで何も出来るようにはならないなと思いました。そして、インストラクターの先輩方の声を聞き悩んだ結果参加することを決めました。

そして実際に参加して、実践コースで学んだことで、実際にパピークラスで自信を持って飼い主さんに説明することが出来ました。また、私は人前で話すこと説明することが苦手でしたが、実践コースで話す練習をしていることで、実際にパピークラスでも前よりも少しずつ伝えたいことをうまく伝えられるようになってきました。そして、以前は自信を持って話すことが出来ず、声が小さくなってしまいうようなことがありましたが、以前より自信を持って話せるようになり声が小さくなってしまってもなくなってきました。

パピークラス以外でも、診察に来た方でパピーの子の相談がある時に以前は自分で話を聞きに行ってもうまくアドバイスすることが出来ませんでした。今では飼い主さんから色々話を聞き出し、アドバイスしてあげることができるようになりました。獣医さんや他の看護師さんからもパピーの子が来た時や相談された時には私を呼んでくれるので、飼い主さんと直接お話しする機会が増え、お話を聞き伝えたいことはしっかり伝えることが出来るように頑張ってます。

そして、パピークラスに勧誘すると大体の方が興味を持って参加してくださいます！

パピークラスでは実践コースで学んだことを実際に飼い主さんに説明するようにチャレンジしています。実際にやっていく中で、前まではただやり方を説明することしかできていませんでしたが、細かいところまで気をつけながら説明することが出来るようになりました。また、今まではうまく伝えられていなかったところがこうすればもっとわかりやすく伝えることが出来るんだ。など自分の中で少しコツを掴んだ気がし、自分の中で反省点を見つけることが出来ました。そして一番嬉しかったことが、パピークラスをやっていく中で飼い主さんにパピークラスのスタッフとして認識してもらえたこと、また自分がアドバイスしたことを実践してくれて出来るようになりました！ありがとうございました！と笑顔で報告してくれることがすごく嬉しかったです。

まだまだ出来ないことや自分への課題はたくさんありますが、この実践コースに参加して自信を持って話すことが出来るようになりました。また、まだ人前で話すことは緊張しますが前よりは少しずつリラックスして話せるようにはなったかなと思いました。

これからももっとたくさんのことを学びアウトプットして自分の力をつけ自信につなげていきたいです。



海外文献要訳

Emotional Support Animal Partnerships: Behavior, Welfare, and Clinical Involvement

エモーショナル・サポート・アニマルのパートナーシップ: 行動、福祉、臨床への関与

Jillian Ferrell & Susan L. Crowley
Anthrozoös 36: 3, 471-487 (2023)

エモーショナル・サポート・アニマル(ESA)は、精神的健康障害などの診断をされた個人に精神的なサポートを提供する動物です。ESAの人気が高まるにつれて、ESAの役割、法律、不正行為に関する混乱が生じています。そのため、ESAの要件と監視の強化が議論されています。住宅管理者やクライアントにとって動物の行動の問題を減らす利点がある一方で、個人にとってESAの恩恵を受けられず障壁にもなるでしょう。障害による心理的症状の治療補助に役立つESAの有効性に関する臨床的な証拠が不足しているため、ESAパートナーシップの支援について疑問が生じています。ESAに関する知識のギャップに対処することで、法律、政策立案者、その他の利害関係者に情報を提供できるだけでなく、責任ある効果的なESAパートナーシップを促進する方法についての理解を得ることができます。

本研究の目的は、ESAに関する知識ベースのギャップに対処するため、現在のESAパートナーシップの性質と状況に関する記述情報を収集し、これらの変数間の関係を調査することです。対象は、ESAの犬を所有する成人77名(女性53名、男性24名)でした。全米の幅広い参加者を募集するため、Qualtricsのパネルサービスを通じて調査が行われました。ESAパートナーシップにおける個人と犬の特徴、介助動物の不当表示の事例、動物福祉と行動、絆の質の側面、医療専門家の関与に関する情報を収集しました。データは、記述データおよび変数間の相関分析について分析されました。

参加者は、ESAに関する虚偽の表示、アクセス法違反、攻撃歴のあるESAや参加者が犬の世話をできなかった時間を含む問題のある事例を高い割合で報告しました。

参加者の中には、犬を入手する前に自分の犬がESAとして登録されており、公共の場所に犬を連れて行く目的でESAを取得した人もいました。参加者の1人は、ESAを取得する根拠となる診断がなかったと報告しました。参加者のおよそ60%が自分の犬を介助動物として主張し、39%が定期的にESAを公共の場所(店舗、レストランなど)に持ち込んでいました。ESA犬の6頭中1頭に攻撃性の履歴があり、ESA犬の約4頭に1頭がハウストレーニングを受けていないと報告されていることを考えると、これは問題で

す。参加者の4分の1弱がESAの文書をインターネットから入手しました。

さらに、参加者の大多数は、精神疾患の診断を報告し、精神保健提供者にESAの文書を求めました。ただし、ESA調達プロセスにおける医療専門家の関与のレベルはさまざまでした。文書に署名する前にその犬に会ったのは文書作成者の半数だけであり、動物の選択プロセスに関与した人はさらに少数でした。このことから、文書作成者の大多数が、クライアントの症状に最も適した動物を意図的に選択できた可能性は低いと考えられます。

参加者とESAの間の絆の質のいくつかの側面は、参加者全体で一貫して高いことが報告されました。相関データから、クライアント、動物、地域社会へのリスクを防ぎ、違法で問題のある行動を防ぎ、クライアントとESAの間の人と動物の絆を強化する上で、医療専門家と動物福祉が果たす役割についての疑問が生じました。例えば、より多くの福祉上の問題(参加者が犬の世話に苦勞している)は動物の問題行動と相関があり、参加者が飼育にコストがかかると感じていました。反対に、犬の基本的なニーズを満たすことができれば、参加者が感じるコストは少なくなりました。

さらに、動物の選択への専門家の関与が増えるほど、ESAを介助動物として誤って表示したり、ESAをペット禁止の公共の場所に連れて行くアクセス法違反の割合も増加しました。専門家がESA法の明確な理解と情報伝達をせずに関与することは、合法的に動物をどこに連れて行けばよいかについてクライアントの混乱を増大させることとなります。

この結果は、ESAパートナーシップの全体像を初めて明らかにし、ESA文書の不正行為や虚偽表示、専門家の関与、ESAの福祉のレベルに関する新たなデータを追加しました。これらのデータは、臨床医から政策立案者、研究者に至るまで、複数の利害関係者グループにとって有益であり、問題となる話題に対する私たちの知識の大きなギャップを埋めてくれます。障害のある個人、その動物、地域社会の保護に向けた将来の研究の出発点となる可能性があります。

2023年 12月CAPP訪問活動実績

老人福祉施設

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護士	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
栃木県	マイホームきよほら【矢部眞人(V)】	10	3		10	10			
千葉県	ときわの杜【佐々木拓也(V)】	4	1		2	3			
	おひさまハウス柏【市川美雪・形部智(V)】	23		1	4	4			
東京都	くめがわ翔裕園【永島憲子・富中道昭(V)】	5			7	5			
	サンピナス立川【浜村富美子・野坂昭文(V)・岩崎藤(V)】	8	1	1	7	5			
	トラストガーデン杉並宮前【滝村昌世・石井宏志(V)】	12			9	7			
	ツクイサンシャイン成城【石森菊江】	13			7	6			
	麻布慶福苑【徳永治子・冨藤麻実子(V)】	14			14	3	8	1	
	テイサービスD-Festa立川【中島千恵・天野拓太(V)】	18		1	4	5			
	やはら翔裕園【永島憲子・石川幸子(V)】	25			5	1	3		
神奈川県	旭ホーム【水谷渉(V)】	3	3	2	1	1	1	3	
	ふれあいの森【水谷渉(V)】	7	3	2	2	1	2	3	
	横浜さくら苑【佐藤恭子】	10	1		5	4	1		
	ラポール三ツ沢【渡部知佳子・水谷渉(V)】	17			2	2			
	ラポール藤沢【水谷渉(V)】	21	3	2	2	1	1	2	
	ひとりざわ【三宮裕子・澤柳千(V)】	28	1		4	3			
愛知県	ナーシングホーム形原【太田恵里・大竹克己(V)】	20			8	8			
京都府	アザレア舞鶴【安積 初江(V)】	11	1		5	5			
大阪府	翼さくら苑【田中玲子・本田善久(V)】	17	5	1	8	6	8		
香川県	青の山荘【大林杏子(V)】	20	2		8	8			
福岡県	若杉の里【徳永可和子】	27			3	2			
	合計	21回	24	10	117	11	99	7	9

障害者施設

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護士	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他	
宮城県	第二ひたかみ園【阿部俊範(V)】	12	1	3	1	4			
東京都	こすもす生活園【森本祐子】	19			5	2	4		
神奈川県	湘南鬼瓦【水谷渉(V)】	14	3	2	1		2	3	
大阪府	とくふうホーム【田中玲子・土居奈美(VN)】	18			4	3			
	合計	4回	4	5	11	2	11	2	3

児童関係施設

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護士	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他
千葉県	千葉市立作新小学校【乙守智奈美(V)】	7	2	2	8	1	6	
	おぶかの森センター子ども図書館【市川美雪・黒木慎介(V)】	10	4	1	6		6	
東京都	杉並区立和田中央児童館【千葉陽子(V)】	2	1		13		8	
愛知県	COCORO【太田恵里・大竹克己(V)】	26			8		5	
宮城県	宮崎市立西池小学校【綾部ゆみ子・綾部俊朗(V)】	11			3		2	
	合計	5回	7	3	38	1	27	0

病院等

都道府県	施設名【Team Leader/担当獣医師】	活動日	獣医師	動物 看護士	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他
埼玉県	埼玉県立小児医療センター【中村悟(V)】	21	1	1	5		6	
千葉県	千葉大学医学部附属病院【佐々木拓也(V)】	6	1		2		2	
	千葉県こども病院【佐々木拓也(V)】	20	1		3		4	
東京都	東京衛生ド'ア'ン'フオス病院【竹中昌子(VN)】	1		1	1		2	
		8		2	1		2	1
		15		1	2		2	1
		22		1	2		2	1
	信愛病院AAA【後藤三枝子・柴内裕子(V)】	12			7		4	
	長谷川病院【浅原久子】	15			5		5	
神奈川県	横浜国立大学附属病院【三宮裕子・澤柳千(V)】	20			3		3	
愛知県	愛知県立看護総合センター【梅村由佳理・夏目里枝子(V)】	15			4		2	
	岡崎市民病院【太田恵里・大竹克己(V)】	27			6		4	
	合計	12回	3	6	41	0	38	3

	活動回数	獣医師	動物 看護士	ボランティア 参加 見学	犬	猫	他
12月合計	42回	38	24	207	14	175	12

※(P)はパートナーズの活動、(V)は担当獣医師、(VN)はJAHA1級動物看護士

新入会 ~正会員 紹介~

ニイツ動物病院

〈入会〉2024年1月 〈入会区分〉動物病院会員B
 〈住所〉新潟県新潟市秋葉区秋葉1-7-6
 TEL:0250-24-6262
 〈正会員〉澤田 友也

深志動物病院

〈入会〉2024年1月 〈入会区分〉動物病院会員A
 〈住所〉長野県松本市本庄1-3-4
 TEL:0263-35-8355
 〈正会員〉桃崎 昂

あまの動物病院

〈入会〉2024年1月 〈入会区分〉動物病院会員B
 〈住所〉東京都立川市幸町3-34-6
 ビュアコート幸町101
 TEL:042-537-8837
 〈正会員〉米田 拓高

〈事務局日誌／1月〉

6~7日	土~日	わんわんマルシェ(麻布大学)
12日	金	執行役員とのミーティング
14日	日	家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース講義4(パート1) 講師:矢崎潤先生 講師兼司会:羽金道代先生 担当:黒田
17日	水	動物病院スタッフのためのシニアケア講座・第3回 講師:宮田拓馬先生 進行:羽金道代先生 担当:伊藤
21日	日	家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース講義4(パート2) 講師:矢崎潤先生 講師兼司会:羽金道代先生 担当:黒田
22日	月	JAHA家庭犬マナーチャレンジ(ベーシック編)ジャッジ講習会 講師:西川文二先生 担当:黒田
25日	木	オンラインセミナー「2024年 循環器駆伝:命のバトンを繋げるためのトリプル・セミナー Day 1」講師:Dr. Etienne Cote 通訳・司会:篠田 仁美先生 担当:加藤
26日	金	執行役員会 支援校ミーティング

会議録 2023度 第4回理事会 議事録

開催日時: 令和5年12月21日(木) 15:00~17:20

会場: 東京都中央区日本橋本石町3-2-7 常盤ビル7階(一部ZOOM)

出席者(敬称略):

会長: 宗像俊太郎

副会長: 市川陽一郎、上野弘道、吉内龍策

専務理事: 水野浩茂、秋吉秀保、菊水健史、千葉陽子、横山篤司、吉田尚子

監事: 秦東主、西村亮平

オブザーバー参加者: JAHA顧問弁護士 岡田英夫

代表・副代表ディレクター:

東日本地区 代表: 長谷往明 副代表: 森淳和、松尾英治

中部日本地区 代表: 新山亮 副代表: 正田晃一、浅井亮太

西日本地区 代表: 東田周三

委員長: 村田元(ホスピタル委員会)、小山田和央(学術委員会)、賀川由美子(認定医認定委員会)

家入秀明(VN委員会)、水越美奈(養成講座委員会)、本田善久(CAPP委員会)

理事会の議事の経過の要領及びその結果

決議事項:

第1号議案 特定費用準備資金の積立について

以下の通り設置することが決定された。

特定費用準備資金の名称: OAシステム保守費用積立資産

積立期間: 5年

積立開始: 2023年度

取り崩し: 2028年度

積立限度額: 600万円

初年度繰入額: 300万円

第2号議案 広報委員増員について

豊田陽一先生(サーカス動物病院)を広報委員として委嘱することについて全員一致で承認された。

第3号議案 株式会社QIXの法人賛助会員への入会について

全員一致で承認された。

第4号議案 VN委員会 委員の増員について

水越美奈先生(日本獣医生命科学大学獣医学部保健看護学科 教授、JAHA認定インストラクター)をVN委員会委員として委嘱することについて全員一致で承認された。

協議事項:

第1号議案 令和6年度事業計画案(骨子)

令和6年度事業計画案(骨子)について、各事業の担当理事及び委員長より説明頂き骨子について確認した。

今後詳細をつめ予算案と共に第5回理事会(3月14日)での決議事項とする。

・認定病院の認定

・動物病院運営の基盤整備のためのセミナー

・国際セミナー

・動物看護師継続教育セミナー

・動物病院スタッフのためのシニアケア講座

・「こいぬこねこ教育アドバイザー」の養成と認定

・家庭犬のしつけ方講座および「家庭犬しつけインストラクター」の養成と認定

・JAHA年次大会2024

・WJVF第15回大会(一般社団法人日本臨床獣医学フォーラムとの共催)

・アニマルセラピー(CAPPボランティア活動)推進のための事業

第2号議案 動物飼育支援におけるイオンペット株式会社との協力について

本件については継続協議とする。

第3号議案 株式会社EDUWARD Pressからの企画案について

株式会社EDUWARD Pressからの企画案について協議を行い、本件に関しては継続案件とした。

報告事項:

1. VN委員会に副委員長を設置することについて

・長谷往明VN委員、勝間健次VN委員に副委員長としてご就任いただくこととなった。

2. IAHAIO大会 参加報告(担当: 吉田理事、菊水理事)

3. IAHAIO総会報告(担当: 吉田理事)

4. アニマルウェルフェア向上にかかる情報発信について一般財団法人クリステル・ヴィ・アンサンプルからの依頼

・財団よりアニマルウェルフェア向上にかかる情報発信を行う上で獣医学的部分の監修をJAHAにお願いしたいとの依頼がきており、今後JAHA関係者にも協力をお願いしたい。

5. 2023 動物感謝デー in JAPAN "World Veterinary Day" への後援・ブース展示報告

6. 令和5年度日本獣医師会 獣医学術学会年次大会への協賛ブース展示報告

・12月1日(金)~3日(日)神戸国際会議場でおこなわれた、令和5年度日本獣医師会 獣医学術学会年次大会に展示協賛で参加したとの報告があった。

4月より新しく始まるJAHA新認定動物病院制度に反響があったとの報告があった。

7. 賛助会員との情報交換会の開催について

8. 執行役員報告 8/24 9/22 10/27 11/24(担当: 宗像会長、市川副会長、上野副会長、吉内副会長、水野専務理事)

9. 委員会報告

1) ホスピタル委員会 11/29(担当: 宗像会長、上野副会長、吉内副会長、水野専務理事、村田委員長)

2) VN委員会 12/20(担当: 宗像会長、市川副会長、横山理事、家入委員長)

3) 養成講座委員会 11/7(担当: 宗像会長、市川副会長、千葉理事、水越委員長)

4) CAPP委員会 9/21(担当: 宗像会長、市川副会長、吉田理事、千葉理事、本田委員長)

5) 年次大会実行委員会 10/18 12/1(担当: 宗像会長、市川副会長、水野専務理事、横山理事、勝間実行委員長)

6) WJVF実行委員会 11/10 12/14(担当: 宗像会長、吉内副会長、水野専務理事、正田実行委員長)

7) 広報委員会 11/24(担当: 宗像会長、上野副会長、水野専務理事、吉田理事)

10. 令和5年度 正会員 入・退会の報告 (令和5年4月1日から12月の資料作成時点まで)

11. 会計報告

セミナー予定

●こいぬこねこの教育アドバイザー養成講座ベーシックコースオンライン

講師：村田香織先生
 日程：全7回（第1回～第6回は録画配信、第7回のみZoomによるリアルタイム配信（10日間の見逃し配信あり））
 ◎3月1日～7日 こねこ塾
 ◎3月8日（金）13～15時リアルタイム配信（見逃し配信あり）

●動物病院スタッフのためのシニアケア講座2023・オンライン

日程と講師：
 第5回：「高齢動物のケア、犬猫とご家族のQOLを高める工夫」
 3月10日（日）14:00～17:00
 講師：小野沢栄里先生、小松原大介先生、島田旭緒先生
 主な対象者：獣医療スタッフ（愛玩動物看護師、獣医師等）
 定員：80名

●JAHA家庭犬のしつけ方講座インストラクター養成コース 実技1「成犬キャンプ」

講師：矢崎潤先生他
 日程：3月26日（火）～3月28日（木）
 会場：帝京科学大学 千住キャンパス
 定員：20名
 内容：成犬に関する基本的なケアやハンドリングの方法を学ぶ、3日間の集中キャンプです。実際に犬を扱いながら、犬の行動やボディランゲージの読み方、安全管理、ハンドリングスキル、トレーニングスキルを、実践的に学んでいきます。飼い主さんへの指導や説明の練習、クラスワークのデモンストレーションもあります。（実技で扱う犬は、JAHAが準備いたします）

●新人オンボーディング研修・オンライン（全2回）

講師：磯部裕子先生

日程：4月3日（水）・4月10日（水）

内容：
 1. 社会人の心構え
 2. ホスピタリティの心とその表現方法の基本
 3. 仕事に早く慣れるために

●オンライン国際セミナー「麻酔」

講師：久代季子先生（Midwestern University）
 形式：Zoomを使用したライブ配信
 日程：5月17日（金）、18日（土）9:00～12:00

●第175回国際セミナー「胸部外科」

講師：徳永暁先生（JASMINEどうぶつ循環器病センター）
 日程：
 東京会場：9月7日（土）、8日（日）
 大阪会場：9月14日（土）、15日（日）

●第176回国際セミナー「消化器病」

講師：Dr. Jan Suchodolski（Texas A&M University）
 日程：
 東京会場：11月16日（土）～18日（月）
 大阪会場：11月20日（水）～22日（金）

後援催事等

●第11回ベビアカデミックフェスタ2024

日程：3月2日（土）・3日（日）の2日間
 対象：獣医師、愛玩動物看護師、トリマー、その他動物病院スタッフ
 会場：NKスクエア玉造 対面形式
 主催：新日本カレンダー株式会社

●令和5年度千葉県獣医師会獣医学術年次大会

日程：3月17日（日）9:00～17:00

対象：獣医師、愛玩動物看護師、獣医系大学在学学生・大学院生、動物看護師大学在学学生・専門学校在学学生
 会場：千葉ポートスクエア内
 内容：特別講演、市民公開講座
 申込先：info@cpvma.com

●インターペット東京2024

日程：4月4日～7日
 対象：小売業、流通業、動物病院、サービス業、学校関係者、プレスなど
 会場：東京ビックサイト
 問い合わせ先：info@interpets.jp

●介助犬フェスタ2024

開催日：令和6年5月18日（土）11時～15時予定
 開催場所：愛・地球博記念公園 地球市民交流センター
 主催：社会福祉法人 日本介助犬協会
 目的：介助犬と身体障害者補助犬法についての認知向上、普及啓発および障がい者や補助犬に対する理解と啓蒙
 内容：
 ①介助犬デモンストレーション
 ②介助犬使用者インタビュー
 ③公益的活動紹介など

会員数（令和6年1月31日現在）

合計8,420名

動物病院会員A	417病院	勤務獣医師会員	1,725名
動物病院会員B	253病院	勤務動物看護師会員	4,810名
個人正会員	5名	学生会員	31名
名誉会員	2名	サポート会員	702名
個人獣医師会員	100名	施設賛助会員	158施設
シニア会員	1名	法人賛助会員	69社
学術会員	147名		

ニュースレターについてのアンケートご協力をお願い

現在JAHA広報委員会において、ニュースレターの改善についての協議を行っております。つきましては会員の皆様のお声を伺いたたく、下記アンケートへのご協力をお願いいたします。（メールニュース等を通じて既にご回答をいただいている皆様は、改めてご回答いただく必要はございません）

JAHAニュースレターについてのアンケート（回答締切：3月15日）



JAHA 動画配信サービス

豊富なコンテンツが200時間以上！

■新着動画

～過去の国際セミナー20タイトル以上が配信中～ 動画配信専用コンテンツもあります

第171回 国際セミナー

2022年12月にコロナかを経て、3年振りの対面セミナーとして開催した「Dr. Johnsonに教わる「The 呼吸器病学」～正しい診断で最適な治療を目指そう～」

講師：Dr. Lynelle Johnson
 Diplomate, ACVIM
 Professor, University of California- Davis



経営情報（税務）

第107回
 「令和6年度税制改正の大綱の概要」について
 なごみグループ 税理士法人 和（なごみ）
 社員（創業者）岡野 正治 先生



動画配信は、正会員病院の限定サービスです。オンラインで実施したセミナーなど、期間限定での見逃し配信など、セミナー開催が厳しい状況が続く今、皆様への学習機会提供の一助となれば幸いです。

動画配信サービスへのログイン・申込はこちらから（正会員病院の限定サービスです）
 ※アカウントをお持ちでない方は、以下のリンクより「サービスのご案内」をご確認ください。
<https://doupa.net/jaha/login/login.php?c=OTU=>

